

おかやま 労 福 協

一般社団法人 岡山県労働者福祉協議会

(No.247) 2023・1・10 発行

発行所：一般社団法人岡山県労働者福祉協議会
〒700-0086 岡山市北区津島西坂 1-4-18
TEL.086 (253) 1569 FAX.086 (253) 0999
【E-Mail】 opinion@oka-rofuku.com
【URL】 http://oka-rofuku.com

発行人：堅田 裕之
印刷所：株式会社創文社 TEL.086 (244) 1155



新年あけまして
おめでとうございます。



湯原雪景色

目次

- 年頭のごあいさつ
 - 岡山県労福協 会長 森 信之……P 2
 - 岡山県 知事 伊原木隆太……P 3
 - 連合岡山 会長 森 信之……P 4
 - 中国労働金庫岡山県営業本部 本部長 金澤 稔……P 4
 - こくみん共済coop 岡山推進本部 本部長 二宮 卓志……P 5
- 岡山県生協連 会長理事 平田 昌三……P 5
- 2022年度岡山県労福協研修会を開催&2022年度高校生のための出前講座を開催中！……P 6
- ライフサポートセンター&ジョブおかやま 相談実施状況……P 7
- 岡山地区労福協からのお知らせ……P 8



2023年 年頭挨拶

一般社団法人 岡山県労働者福祉協議会
会長 森 信之

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、岡山県労福協の諸活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルスが猛威を振るい始めて早や三年が経過しましたが、未だに克服が見えてきません。昨年来から「コロナ禍、物価高、円安」の三重苦が私たちの生活を苦しめ続けています。特に弱い立場・不安定な立場にある勤労者の雇用と生活に深刻な打撃を与え続けており、労福協に求められる役割は益々大きくなっています。

県労福協は、コロナ禍により行動が制限される中でしたが、中央労福協や西部労福協の活動に積極的に参加するとともに、労働者自主福祉運動の歴史・理念の研修や労福協運動の推進、高校生のための出前講座など取り組んできました。特に地区労福協との連携強化を図るため、各地区労福協との意見交換を図りながら、活動を進めてきました。引き続き、時代に即した運動スタイルにチャレンジし、この危機を乗り越えていかなければなりません。

そのためには、労福協・労働組合・福祉事業団体が連携し、一丸となって取り組むことが必要であり、「誰一人取り残されない」持続可能な社会を創造するために労働者自主福祉活動を進めていきます。「2030ビジョン」に基づき、公助や共助を最も必要とする人たちが寄り添えあえる社会や仕組みを再構築していくことが強く求められています。今まで以上に、連合岡山、労働金庫、こくみん共済coop、岡山県生協連の皆様との「ともに運動する」関係を強化し、共助の輪を拡げるとともに、公的セーフティーネットを拡充させ、誰もが安心して暮らし、働くことのできる社会をめざして、社会的な役割を果たしていかなければなりません。

終わりにになりましたが、本年も岡山県労働者福祉協議会に対しまして、皆さんの格段のご支援・ご協力をよろしくお願いすると共に、皆様とご家族にとりまして、健康でご多幸な年となりますようお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願いいたします。





すべての県民が明るい笑顔で暮らす 「生き活き岡山」を目指して

岡山県
知事 伊原木 隆太

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が、いまだ感染再拡大を繰り返していますが、日常は少しずつ、コロナ禍前と同様の風景を取り戻しつつあります。

県では、これまで、基本的な感染防止策徹底の呼びかけや医療提供体制の整備、ワクチン接種の促進などの感染拡大防止対策に総力を挙げて取り組んでまいりました。

今後も油断できない状況が続きますが、関係機関との緊密な連携の下、社会経済活動との両立を図りながら感染拡大防止に全力を尽くしてまいります。

さて、昨年、世界はロシアによるウクライナ侵攻という新たな脅威に直面しました。日々痛ましい被害が伝えられ、燃料や原材料の高騰など世界経済も大きな影響を受けています。力による一方的な現状変更は断じて許されることなく、一日も早く、平和な世界が戻ってくることを切に願う次第です。

私は、就任以来、「教育再生」と「産業振興」の二本柱を本県発展のエンジンに据え、さまざまな施策を推進してまいりました。

教育の再生については、児童生徒の暴力行為発生割合や非行率がこの10年で大幅に改善するなど、取り組みの成果が表れてきていると考えています。引き続き、児童生徒の学ぶ力の育成や落ち着いた学習できる環境の整備に取り組んでまいります。

産業の振興については、2年続けて、1,000億円を超える企業の投資を呼び込むなど、確かな成果を挙げております。今後も、戦略的な企業誘致の推進や中小企業等の稼ぐ力の強化などに努めてまいります。

一方、人口減少については、出生数の減少に歯止めがかからず、まさに喫緊の課題と捉えております。県では、子ども関連施策の効果的な推進を目的の一つとして、本年4月に新たな組織を設け、結婚、妊娠・出産の希望がかなう環境を整備するとともに、移住・定住の促進など、自然増、社会増に資する施策にこれまで以上にしっかりと取り組んでまいり所存です。

そして、平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興に引き続き取り組むとともに、官民連携によるカーボンニュートラルへの対応や県民が利便性を実感できるDXの推進など、本県の持続的な発展に結びつく施策も積極的に進めてまいります。

すべての県民が明るい笑顔で暮らすことのできる「生き活き岡山」の実現に向けて一步一步、着実に進んでまいりますので、引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。



新年のご挨拶

日本労働組合総連合会 岡山県連合会
会長 森 信之

新年あけましておめでとうございます。

岡山県労働者福祉協議会 会員の皆様には、ご家族とともに穏やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年来からの「コロナ禍、物価高、円安」の「三重苦」が、私たちの生活を苦しめ続けています。連合岡山は、すべての働く仲間と困難な状況にある方々の「必ずそばにいる存在」となるよう運動を進めていきます。

そのためにも労福協が取り組まれている「2030年ビジョン」を共有し、貧困対策などの政策制度の充実・改善を求めています。誰一人取り残されることのない、持続可能で包摂的な「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、共に前進させていきましょう。

最後になりますが、岡山県労福協・各地区労福協の益々のご発展、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



新年のご挨拶

中国労働金庫 岡山県営業本部
本部長 金 澤 稔

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、中国労働金庫の事業推進につきまして、格段のご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大が4年目を迎え、また、ロシアのウクライナ侵攻や急激な円安による物価の高騰により、貧困と格差の拡大に拍車がかかる状況の中で、労福協の「共助の拡大」をめざした運動の重要性が、ますます高まっています。

中国労働金庫は、今年設立20周年を迎えますが、設立の原点である「助け合い精神」のもと、家計の見直し運動を通じた可処分所得の向上など、会員・間接構成員とその家族の期待に応える「お役立ち」することをめざし、労福協と連携した運動を引き続き推進してまいります。

コロナ禍の一日も早い終息と、岡山県労働者福祉協議会の益々のご発展、今年1年の皆様方のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



新年のご挨拶

こくみん共済coop 岡山推進本部
本部長 二宮卓志

明けましておめでとうございます。

岡山県労働者福祉協議会および会員の皆さまにおかれましては、ご家族とともに穏やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げますとともに、こくみん共済coopの諸活動に対するご支援・ご協力に心より御礼申し上げます。

さて、昨年も新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、生活者への自主福祉を強化し、労福協に集う加盟団体と連携し「新しい生活保障設計への取り組み・セーフティーネットづくり」への取り組みを通じて、事業と運動の発展を目指してきました。

引き続き、こくみん共済coopの原点（理念）である「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の実現にむけて、役職員一丸となって事業と運動を邁進してまいります。

特に本年は、「中期経営政策2025～変革と創造～」にもとづき、お役立ち発想と共創活動にデジタル技術を取り入れた「新しいたすけあい」の創造・実践に挑戦し、5月には「こくみんLifeサポート」を展開する予定です。

皆さまの益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申しあげ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

岡山県生活協同組合連合会
会長理事 平田昌三

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、日頃より生協の活動にご支援ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。国際情勢の急激な変化と円安・物価高・資源高が、くらしや事業経営に大きな影響をもたらす。人口減少・超高齢化はいっそう加速しています。くらしが厳しさを増し、平和や国際秩序が根底から揺るがされる中で、SDGsへの関心はこれまでになく高まっています。

生協では医療や購買、福祉、共済などくらしを支える事業を担い、地域に根差した助け合いの組織として役割を果たせるよう、様々な活動をすすめています。誰一人取り残さない、安心してくらし続けられる地域社会の実現に向けて、行政や諸団体とのネットワークをより豊かなものにしなが、連携して取り組みをすすめて参る所存です。皆さまにも変わらぬご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

皆さまのご多幸とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2022年度 岡山県労福協研修会を開催

中央労福協「2022全国福祉強化キャンペーン」の一環として「2022年度岡山県労福協研修会～労働者の可処分所得の増加に向けて～」を2022年10月22日（土）に開催しました。

土曜日に開催しましたが、各地区労福協役員および各地区労福協加盟組合員44名の方に参加いただきました。

まず、こくみん共済coopの講演は、外部講師により「組織内保障を利用して組合員の可処分所得を上げよう」と題して講演をしていただきました。

続いて、中国労働金庫の講演は、営業統括部営業企画課の職員により「『なぜ、ろうきん？』～改めて考えよう ろうきん運動～」と題して講演をしていただきました。



森会長挨拶



こくみん共済研修会風景



中国労金研修会風景

2022
年度

高校生のための出前講座を開催中！

2004年度より毎年開催している「高校生のための出前講座」は、社会に巣立つ若者たちが『働くことの意義を認識し、同時に社会人・消費者として当然知っておくべき基礎知識を身につける』ことを目的としています。

岡山県労福協の地域貢献活動の一つとして実施している出前講座は、岡山県ならびに岡山県教育委員会の後援を受け、年度当初に県下の公立・私立すべての高校に開催案内を送付し、応募要請を行いました。

岡山県立倉敷鷺羽高等学校では11月と12月の2回に分けて、中国労金水島支店の職員による「消費者講座」を体育館で集合形式にて行い、岡山県労福協の職員による「ワーカールール講座」を特別教室からオンライン形式にて行いました。

なお、2023年1月には岡山県立津山商業高等学校において「消費者講座」と「ワーカールール講座」を行う予定です。



体育館での授業風景



オンラインでの授業風景



消費者講座

ライフサポートセンター 相談実施状況

2022年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
(前年度件数)		(17)	(14)	(15)	(15)	(17)	(10)	(12)	(14)	(5)	(4)	(6)	(14)	(143)	
相談方法	電話	6	6	7	11	9	9	6	2					56	
	来所	2	4	3	6	7	2	4	3					31	
	合計	8	10	10	17	16	11	10	5					87	
地域センター	岡山	電話	3	3	4	5	2	4	4	0				25	
		来所	1	0	0	0	0	0	0	0				1	
		計	4	3	4	5	2	4	4	0				26	
	倉敷	電話	1	0	1	3	1	0	1	0				7	
		来所	1	1	0	3	7	0	0	1				13	
		計	2	1	1	6	8	0	1	1				20	
	津山	電話	2	3	2	3	6	5	1	2				24	
		来所	0	3	3	3	0	2	4	2				17	
		計	2	6	5	6	6	7	5	4				41	
	合計		8	10	10	17	16	11	10	5					87

ジョブおかやま 相談実施状況

2022年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
(前年度件数)		(5)	(2)	(3)	(4)	(2)	(3)	(4)	(8)	(4)	(1)	(1)	(1)	(38)
相談方法	電話	0	0	0	0	1	1	0	0					2
	来所	2	3	2	2	1	1	3	2					16
	合計	2	3	2	2	2	2	3	2					18
新規登録	休職（失業中）		1											1
	転職希望													0
	スキルアップ（学卒）													0
	合計	0	1	0	0	0	0	0	0					1
登録者累計		6	7	7	7	7	7	7	7					7

第1弾は「岡山地区労福協」です

岡山地区労福協では、労働者福祉の向上のため①自主的に実施する施策②岡山市と共同で実施する施策に取り組んでいます。

自主的に実施した施策

- ・家族ふれあいメーデーイベント
- ・生活応援セミナー in 犬島
- ・アスゼミ # 山口舞（セミナー）
- ・ボウリング大会



岡山市と共同(連携)で実施した施策

- ・おかやまマラソンボランティア
- ・児島湖流域清掃大作戦
- ・優良勤労者表彰
- ・親子で遊ぼう池田動物園ボランティア
- ・岡山市民美術展
- ・さんかくウィーク（男女共同参画）



若年層を対象に開催した「生活応援セミナー in 犬島」では、中国労働金庫・こくみん共済 coop・市議会議員を講師に招き、マネートラブルやライフプランに加えて、税金の使われ方を学びました。

「アスリートに学び明日に活かそう！」を目的に開催した「アスゼミ # 山口舞」では、女子バレーボール元日本代表の山口舞選手を講師に招き、ディスカッションをおこないました。

昨年私たちは、「学びと出会い」にこだわって活動してきました。「世代を超えた出会い」や「同世代の出会い」、人が出会うことにより生まれるチカラと様々な「学び」を掛け合わせることで、気づきを増やし、労働者福祉の向上へつなげてきました。

直近では岡山市民美術展のお手伝いや生活応援セミナーを開催しますので、ぜひご参加ください。

岡山市民美術展

1月11日（水）～1月15日（日）
岡山シティミュージアム



生活応援セミナー

50歳からはじめる資産形成（仮称）
2月12日（日）10時
ピュアリティまきび



今後も「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現に向けて取り組んでいきます。



岡山地区労働者福祉協議会
〒700-0086 岡山市北区津島西坂1丁目4-18
☎086-201-6070
議長：増原 誠 事務局長：藤井 秀俊

明けましておめでとうございます

旧年中は格別の御厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。

皆さまのご健勝と益々のご発展を心よりお祈り申し上げますとともに、
本年も変わらずご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。
また、引き続き各プロジェクトへのご協力をお願い申し上げます。



7才の交通安全プロジェクト

<https://www.zenrosai.coop/anshin/7pj/>

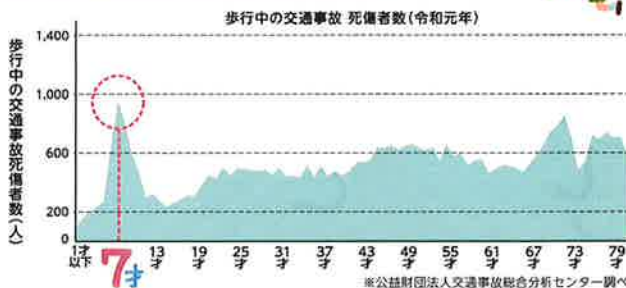


詳しくは
こちら

未来ある子どもたちを交通事故から守りたい

小学生になり友達も増え、行動範囲もぐっと広がる7才。
しかし、大人に比べて目線が低く、まだ注意力も十分に育まれて
いない7才の子どもたちは、他の年齢に比べて突出して交通事故
に遭いやすいというデータがあります。(※右図参照)

私たちこくみん共済 coop は、「未来ある子どもたちを交通事故か
ら守りたい」という思いから、みんなで子どもたちを交通事故か
ら守っていく「7才の交通安全プロジェクト」に取り組んでいます。



横断旗寄贈の取り組み

カーライフを応援する、頼れる情報
マイカー共済
自動車総合補償共済

こくみん共済 coop は「7才の交通安全プロジェクト」の取り組みのひとつとして、マイカー共済のお見積もり1件につき横断旗1本を全国の児童館をはじめ、小学校、交通安全協会等へ寄贈してきました。あなたもぜひ、この取り組みにご協力ください。



マイカー共済 コールセンター



0120-6031-60

受付時間 月～土(祝日営業)9:00～18:00 ※日曜・年末年始休み
※受付時間は変更となる場合があります。

取扱団体 日本コープ共済生活協同組合連合会(コープ共済連) 契約引受団体 全国労働者共済生活協同組合連合会(こくみん共済 coop)

私のまちの7才の交通安全ハザードマップ

金沢大学 藤生准教授と共同で「私のまちの7才の交通安全ハザードマップ」を開発しました。
お出かけ前に危ない場所やより安全な道を調べることで、皆さまの安心安全なお出かけをサポートします。

2022年9月には、利用者による投稿が可能になりました。

お子さまと一緒にぜひ活用ください。



検索ボックスに住所や建物名を入力すると、その周辺の事故情報がマップ上に表示されます。



身近にある「危ない場所」や「交通安全に関する取り組みが行われている場所」を投稿し、利用者全体で共有することができます。

投稿で
情報共有!



たすけあいから生まれた保障の生協です。

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。



岡山推進本部 岡山市駅元町 6-26

こくみん共済

全国労働者共済生活協同組合連合会
岡山県労働者共済生活協同組合



3322W007

こくみん共済 NEWS



ろうきんイメージモデル
高梨 臨

あけまして

おめでとうございます

本年もよろしくお願い申し上げます。

二〇二三年 元旦